



第2回 郡山市の幼稚園の通園路(入口付近)および駐車場の除染活動へのご支援、本当にありがとうございました。



子どもたちが毎日通っている幼稚園の通園路(入口付近)と駐車場の放射線量を少しでも下げるために。

みなさまからの寄付金で、2日間をかけて除染活動を行いました。

政府や自治体の手の届いていないところを、すこしでも除染していこう、という想いからはじまった「ごしごし福島基金」。第1回に実施した福島県郡山市柴宮幼稚園の屋上プールの除染に続き、第2回は、子どもたちが小さな足で毎日通っている、幼稚園の通園路(入口付近)と駐車場を除染しました。幼稚園の先生たちは日々、手作業による除染を行っていますが、放射線量の低下には限界があり、専門家による高圧洗浄をすることでより高い除染効果を目指しました。今回も、震災以来、福島県で除染活動が続けている株式会社EARTHの専門スタッフと共同による「GOSHI GOSHI FUKUSHIMA」チームが、除染から測定まで2日間をかけて実施しました。

今回の除染活動も、みなさまからの支援金をもとに実現しました。

- 第1回目の除染活動のときにREADY FOR?にお寄せいただいた支援金のうち繰り越された分
- 写真展「ゼラチンシルバーセッション2012」でのチャリティーオークションからのご寄付
- ごしごし福島基金の銀行口座にいただいたご寄付

こうして継続した活動ができるようになったことを感謝しています。みなさまからのご支援のおかげで、柴宮幼稚園の通園路と駐車場の除染活動を行うことができました。本当にありがとうございました。

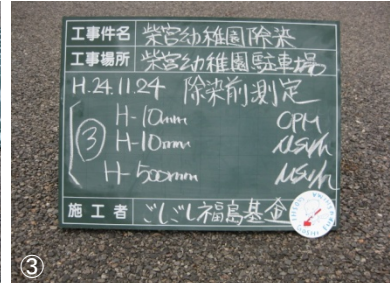
ごしごし福島スタッフ一同

- ◎実施場所: 福島県郡山市 柴宮幼稚園 通園路(入口付近)および駐車場 (園児数338)
- ◎除染実施日: 11月24日・25日の2日間(放射線量の測定作業を含む)
- ◎作業日程:
 - 11月24日(土) 放射線量計測～除染作業
 - 11月25日(日) 放射線量計測～除染作業～放射線量計測

ごしごし、ごしごし。2日間かけて行った、除染作業をご報告いたします。

まずは、専用の測定機器で、駐車場の放射線量を測る。

初日11月24日は、まず、駐車場の線量の計測と高圧洗浄機による除染を行いました。駐車場は線量が高く、毎時0.9マイクロシーベルトを超えるポイントもありました。参考として、第1回の屋上プールは除染前の空間線量が最も高いところで毎時0.5マイクロシーベルトでした。



①活動前の駐車場。②専門の測定機器で除染前の線量を測ります。③測定した値は記録し、除染後の線量と比べます。

高圧洗浄機で、放射性物質を集める。砂を掃く。草をむしる。

駐車場の端から端まで、高圧洗浄機でアスファルトにこびりついている放射性物質を集めました。水が外にもれないので、放射性物質をまき散らすことなくぎゅぎゅっと集めていきます。駐車場のすみこの砂がたまっているところや草、苔などが線量が高いので、念入りに取り除いていきます。ごしごし、というよりも、ホウキではきはき、軍手でむしりむしり、です。砂がたまっているところは特に線量が高く、なんと毎時1.0マイクロシーベルト以上ありました。ちなみに園庭は、県が表土を削り取る作業をしたので、線量はそれほど高くありません(毎時0.1~0.2マイクロシーベルト)。ごしごし福島は、「見落とされているところ」を見つけて、ごしごししていきたいと考えています。



④⑤高圧洗浄機を使って除染中。
⑥駐車場の端は草をむしったり、ホウキで掃いて線量が高い砂を取り除いていきます。

凝固剤を使って、浄化水と放射性物質に分離。

前回のプール除染のときと同様、放射線物質を含んだ泥は、高圧洗浄機からタンクへ。タンクがいっぱいになったら、その中に凝固剤を入れて、放射性物質を沈殿させ、放射性物質と浄化水とに分離しました。濾過されて、排水基準値を下回った水は放流しました。タンクがいっぱいになるごとに、この分離作業を行いました。凝縮された放射性物質を測定すると、高いポイントでは、なんと毎時20マイクロシーベルト以上ありました。除染をする際には、こうした物質に近づいての作業を最小限にする必要があると同時に、毎日のように除染作業を行っている専門スタッフのみなさんがいることを忘れてはならないと感じました。



⑦分離作業も念入りに行います。

2日目。前日に除染した駐車場の放射線量を測定。

前日に除染した駐車場を測定しました。表面線量と、地表から50cmの空間線量、そしてcpm(※)の3つを測定。その場で簡易的に計測したところ、空間線量で毎時0.9マイクロシーベルトだったポイントが、0.7マイクロシーベルトに下がっていました。下がってはいたのですが、思っていたよりも下がっていないことが分かりました。アスファルトがどうやら透水性のもので、アスファルトの下にもぐりこんでいる放射性物質が吸引できずに残っている、と考えられる、とのこと。アスファルトをはがして、土壌を削らないとこの放射性物質は取り除けません。支援していただいたみなさまには、「すごく下がった！」と報告したい、という気持ちがあるので、とても残念なのですが、こうした一つ一つのことを勉強として、次の除染活動に活かしたいと考えています。 ※用語および各ポイントの数値は次のページをご覧ください。



①透水性と思われるアスファルトの表面。②前日に除染した部分の放射線量を測定し、チェックします。

幼稚園の通園路(入口付近)を除染。かき集めた放射性物質は遮蔽容器へ。

次は幼稚園の入口付近の通園路を除染しました。特に線量が高かった(毎時1.0マイクロシーベルト以上)砂の山もきれいに取り除きました。吸引した泥は、凝固材を入れて濾過。最終的に凝縮した放射性物質とかき集めた線量の高い砂は、今回、大きな遮蔽容器(放射線を遮断するもの)の中に入れて、園内の、普段子どもが立入らない場所に仮保管することにしました。しかし、その後の処理は決まっていません。これも、大きな問題です。前述したように、凝縮した放射性物質を計測すると、高いポイントでは毎時20マイクロシーベルト以上ありました。それだけ多くの放射性物質をかき集めることができた、ということでもあります。



③かき集めた放射性物質。④除染活動の終わった駐車場。同じように見えても、放射線量は下がっています。⑤1㎡は、このくらいの大きさ。

放射線量の測定結果

ごしごしする地面の性質(透水性かどうか)や砂のたまり具合、草や苔の生え具合など様々な要因によって放射線量およびその低減率に差があることが分かりました。以下、除染前・除染後の数値です。測定箇所は全部で9ポイント。除染の効果が大きかった箇所と小さかった箇所がありますが、ごしごししたすべての場所において放射線量を下げることができました。

各ポイントの測定内容は上から 表面線量(cpm・1cm)の除染前→除染後
表面線量($\mu\text{Sv}/\text{h}\cdot 1\text{cm}$)の除染前→除染後
空間線量($\mu\text{Sv}/\text{h}\cdot 50\text{cm}$)の除染前→除染後



cpm : カウント・パー・ミニット。放射線測定器に1分間に入ってきた放射線の数を計測します。
表面線量: その場所がどの程度汚染されているかを示す数値で通常CPMで示します。
CPMはあまり聞きなれない数値でイメージしにくいいため、SV測定も行いました。
空間線量: 空気中の放射線量。

**「ごしごし福島」では、今後も、プロジェクト運営へのご支援を受け付けております。
みなさまからご支援いただいたお金は、大切にに使わせていただきます。**

< 使 途 >

- ・除染費用(高圧洗浄費、汚染水処理費、放射線量測定費、機材費)
- ・プロジェクトの運営実費(諸手続き費用、交通費および宿泊費※活動1回につきスタッフ1名分のみ、活動の記録をするために除染活動場所へ行く費用に充てさせていただきます。※その他、できる限り各自の自己負担で運営していきますが、やむをえず充当したものに関してはHPでご報告させていただきます。)

< 支援金振込口座 >

みずほ普通預金 新橋支店

口座番号 2696337

ごしごし福島基金 ゴシゴシフクシマキケン

